

第1回有識者会議意見及び対応方針（案）

	意見	対応方針(案)
学校の魅力 (入口対策)	・園芸アカデミーをPRし認知度を高める必要がある。学校生活のエピソードやストーリーを盛り込むことが大事	・ホームページを一新(R1)し、学生、卒業生、教員の新鮮な声を発信。併せてSNSを活用するなど、若者をターゲットにした広報を強化
	・高度な技術を身に付けたいという農業高校生にとってアカデミーの存在は大きな意義がある	・県内高校への出前授業や学校訪問を通じたアカデミーの魅力発信。農業高校と園芸アカデミーとの連携強化
教育内容(カリキュラム等)	・マーケットインの考え方で時代の潮流を捉え、ニーズに合ったカリキュラムを考える必要がある	・教育課程編成委員会等での意見や教員の企業研修等において情報を収集し、 <u>業界のニーズに立脚した授業を展開</u>
	・教員の改革への意欲が薄いように感じる。自ら見つめ直し課題をしっかりと把握する必要がある	・教員の意識改革のため以下の研修を実施。 ① <u>企業研修</u> を実施し技術習得のほか、企業の経営理念、経営方針、業界の現状などの情報を収集し授業、カリキュラム等への反映 ② <u>キャリアサポート研修</u> にて職業実践教育に対する心構え等を習得
	・立ち上げからこれまでの経過を評価検証した上でこれからどうするのか、基本コンセプトはどうするのか考える必要がある。その上でこの学校の優位性を前面に出すとよい	・これまでの変遷を整理・検証し、学校の優位性を明確にするとともに更なる魅力向上に向けた方策の検討及び基本コンセプトを明確化
	・学校の必要性は感じているが、税金を投入するほどの価値は感じられていないため、改革が必要である	・業界で活躍できる十分なスキルと志を持った人材を育成し、業界の振興につなげることがアカデミーの使命。その点を踏まえたうえで、 <u>適正な経営管理と運営体制の構築</u>
	・花業界は厳しい状況、「花+α」を考える必要がある。広い視野でサポートしないと未来は厳しい	・インターンシップ等現場経験で得られるスキル向上に加え、企業経営者と接する機会を増やす等、物事を多面的に捉えられる人材を育成 ・来年度策定する「 <u>第2期清流の国ぎふ花き振興計画</u> 」において、他業界と連携した「花+α」の取組みをモデル化し、花きの活用を促進
	・地域住民や生産者が花によって関係性を築き、地域コミュニティの形成に関わることで、需要の創出が可能	・ <u>市町村との連携協定</u> を機に、講師派遣や地域イベントへの参画により地域との関わりを深めることによる花きの需要創出及び交流推進
就職支援 (出口対策)	・出口対策が重要。出口を見据えた教育の重要性を感じる	・企業説明会の開催及び <u>インターンシップ</u> を通じた企業との連携により、学生の就職先を確保